

日本農業気象学会2013年全国大会 ポスター発表プログラム  
3月27日(水) 15:00~17:00

発表時間(コアタイム)は、奇数番号が15:00~16:00、偶数番号が16:00~17:00とします。

P-1	ヒノキ林におけるモノテルペンフラックスの年変動	奥村智恵1・小杉緑子1・深山貴文2・小南裕志2・東野達1 (1京大, 2森林総研)
P-2	陸域生態系モデルVISITの水田生態系への適用	稲富素子1・伊藤昭彦2・宮田明3・木下嗣基1 (1茨城大, 2国環研, 3農環研)
P-3	暗渠排水整備による水田からのメタン発生抑制効果	永田 修1・赤塚脩介2・高木優次2 (1北海道農研, 2北海道農業近代化技研セ)
P-4	閉鎖循環式チャンバー法を用いた温帯ヒノキ林土壌のメタンフラックス時空間変動	奥見智佳・小杉緑子・坂部綾香・岩田拓記・伊藤雅之(京大)
P-5	北極土壌のガス交換の温度依存性	森山明敬1・米村正一郎2・岸本文紅2・内田雅己3 大浦典子2・川島茂人1 (1京大, 2農環研, 3極地研)
P-6	霧発生時と積雪晴天時における地表で受ける太陽光の波長バランス	浜本 浩(野菜茶研)
P-7	廃棄制服素材の農業・園芸資材への転用研究 —高機能性付与の試み—	節句田恵美1・山村敏夫2・岡澤立夫3・福井徹4・小川和彦5 岡部敏弘6(1岩手大, 2山村技術士事務所, 3東京都農総研セ, 4病体生理研, 5広島ポリテクセ, 6青森県産業技術セ)
P-8	CO2施用温室におけるCO2動態評価システムの構築	○安武大輔1・岡田栄一1・猪野亜矢1・細川卓也2 高橋尚之2・森牧人1・山根信三1・宮内樹代史1 (1高知大, 2高知県農技セ)
P-9	細線式気流気温センサーの開発と計測事例	佐瀬勲紀1・奥島里美1・海保昭2・森山英樹1・高倉直3 (1農工研, 2グリテック, 3沖縄農研セ)
P-10	TRNSYS植物モジュールの開発	奥島里美1, 安田雄市2, 高倉直3 (1農工研, 2(株)クアトロ, 3沖縄農研セ)
P-11	紫色光照射時のPS II 量子収率と一重項酸素の同時モニタリング	○得能彩歩・荊木康臣(山口大)
P-12	メタン発酵消化液中の窒素成分の変換技術に関する研究 (II)高温硝化細菌によるNH4-NからNO3-Nへの動態について	泉哲也1・中道隆広1・下高敏彰1・嶋谷智佳子2・大場和彦1 (1長崎総合科学大, 2九州沖縄農研)
P-13	過去58年間のリンゴ梨の発育にみられる中国東北部の気候温暖化	申銀月(東大)
P-14	温度勾配チャンバーにおける温度処理がダイズ茎内流に及ぼす影響	中野聡史1・白岩立彦2・本間香貴2・Custodio P. Tacarindua2・中島慶一郎2 (1中央農研, 2京大)
P-15	北日本における温暖化および作期移動がダイズ発育に及ぼす影響—発育モデルによる評価—	熊谷悦史1・本間香貴2・鮫島良次3・白岩立彦2 (1東北農研, 2京大, 3北大)
P-16	穂孕期以降における朝夕の日射の差異が水稻の品質に与える影響	下高敏彰・泉哲也・中道隆広・大場和彦 (長崎総合科学大)
P-17	生育時期別オゾン暴露が水稻の収量に及ぼす影響	米倉哲志(埼玉県環境科学国際セ)
P-18	FACEによるイネの穂蒸散の変化と体内ケイ酸濃度との関係	吉本真由美1・福岡峰彦1・長谷川利拓1・兼松誠司2 岡田益己3・馬建鋒4 (1農環研, 2東北農研セ, 3岩手大, 4岡山大)
P-19	東北地方の水稻の出穂期と刈取期の予測モデル	川方俊和(東北農研)
P-20	登熟期の通水灌漑がイネの収量および品質に及ぼす影響	谷口野依1・西田和弘2・塚口直史1(1石川県大, 2東大)
P-21	水稻における地域別適合品種のフェノロジー特性抽出	福井真・石郷岡康史・桑形恒男・長谷川利拓(農環研)
P-22	MIROC5 による東北地方における冷害リスク判定の試み	○神田英司・菅野洋光(東北農研)
P-23	北海道における本州水稻品種の登熟変動 —登熟期異常高温の影響—	○濱寄孝弘・根本学(北海道農研)
P-24	盛夏期におけるため池からの放流水温と水路内水温の変動について	松村 伸二(香川大)
P-25	北海道十勝における強い夜間放射冷却の出現条件	矢崎友嗣・廣田知良・岩田幸良・井上聡(北海道農研)
P-26	北海道の冬期気温の変動特性	○木村賢人・佐藤恭祐(帯広畜大)
P-27	日本における果樹の凍害、雪害の経年変化	朝倉利員(果樹研)
P-28	札幌森林気象試験地の気象特性	溝口康子・山野井克己・北村兼三・中井裕一郎(森林総研)
P-29	インドネシア国西パプア州における環境モニタリング —野生サゴ林内外の気象要素の差異—	森牧人1・Javed Muyan2・角田憲一3・山本由徳1・ 安武大輔1 (1高知大, 2State Univ. Papua, 3山形大)
P-30	熱収支観測を用いた近接する二地点間の気温差の解明	末兼佳織・太田俊二・○加我拓巳(早大)
P-31	日本の農耕地における地温と土壌水分推定モデルの評価	滝本貴弘1・桑形恒男1・徐健青2・高田裕介1 (1農環研, 2海洋研究開発機構)
P-32	平成24年7月九州北部豪雨による阿蘇盆地における被害状況	脇山恭行・丸山篤志・久保寺秀夫(九州沖縄農研)
P-33	先行降雨指数を用いた干ばつ・湿害危険性の評価	井上聡1・牧野司2・広田知良1・根本学1・濱寄孝弘1 (1北海道農研, 2根釧農試)